

総合学科だより

「産業社会と人間」課題研究発表！

夏休みの課題研究のまとめを発表しました。それぞれが体験したことを自分の言葉で述べました。同じ体験をしても、感じることで、気づくことが人によって様々で、多くの仲間の考えを聞くことで、いろいろな思いを共有することができました。



クラスでの発表の様子

生徒のまとめより

○あさぎりサニールランド夏祭りボランティア

今井みどり（萩原南中卒業）

ボランティアをする意義は、私の疑問の一つでした。「見返りも何もないじゃないか」「得はあるのか？」ということとを考えます。しかし、これから将来の進路を考えると、ボランティアはとても重要なものです。理由は二つあります。一つは普段できない経験ができることです。二つ目は、無償で働くことによって、人の暖かさやお金の大切さを知ることができることです。私は、今回のボランティアのあと、団子をもらいました。本当に嬉しかったし、美味しかったです。それと同時に、働いてお金を稼ぐということは本当に大変なんだと痛感しました。お礼を言われたときは、やったことは無駄じゃなかったとしみじみ感じました。

○萩原町商工会座談会

熊澤歩倫（加子母中卒業）

私は、座談会に参加する前は、地区外でずっと働きたいと思っていただけで、地元で働くことの大切さや良い点を聞いて、地元で働きたいという気持ちに変わりました。専門学校を卒業したら、まず地区外で働き、コミュニケーション能力を身に付け社会について学んでから、地元で働きたいです。座談会を通して、自分の将来について、たくさん考えることができたし、目標を見つけることができました。

萩原町商工祭に参加！

九月三日（土）に開催された萩原町商工祭に観光産業系列三年生が出店しました。当日は生徒のアイデアから作られたトウモロコシ、ブルーベリーヨーグルトのジェラート、地元産のトマトジュースを販売しました。多くの方にご購入いただき、地域の方々にあらためて感謝する取り組みとなりました。



食のコンテストに参加！



八月二十七日（土）、二十八日（日）に愛知県のイオンモール熱田店で開催された『高校生応援！食のコンテスト2016』に参加しました。今年度から始まったこの取り組みは、ふるさと元気再生協会が主催するもので、今回は東海三県から九校が参加しました。高校生がプロデュースした「食」商品を、イオンモール熱田の特設会場にて、自らアピール、販売しました。当日は、げろぐる君の Mascot も大活躍。他校の生徒の取り組みにも大いに刺激を受けました。

ど真ん中祭りボランティア



八月二十七日（土）に日本ど真ん中祭りのサテライト会場となった東海市太田川駅でのイベントボランティアに参加しました。よさこいステージの前で下呂の特産品や鶏ちゃんなどの販売やアンケート調査のボランティアをさせていただきました。日本を代表する大きなイベントの迫力を実感した一日でした。

清風祭（文化祭）イルミネーション！



九月六日（火）、七日（水）に開催された清風祭（文化祭）に合わせて、校門横にイルミネーションを設置しました。益田清風の文化祭を象徴する何かを作りたいという思いを形にしました。準備期間から当日まで、多くの生徒に見てもらうことができました。

テレビ撮影を経験しました！



九月中旬にテレビ取材を二回受けることができました。一つは岐阜放送で私たちが作成したジェラートの宣伝をしました。近頃の時間をかけ、テレビ撮影の大変さを実感しました。二つ目は、天領朝市に中京テレビの取材を受けました。既に放送されたものなので、見た方もいるかもしれませぬ。

前期もいよいよ大詰め

二期制の益田清風高校は、文化祭が終わると学期末となり急に慌ただしくなります。定期考査、生徒会選挙など、大切な仕事が続きます。

一方で生徒にとっては、それ以上に進路に直結した大切な仕事が始まります。三年生は、**九月十六日から就職試験**が始まります。企業によって試験日は違いますが、自分の進路を直接決める大切な試験ですから、三年生の就職希望者は、**毎日のように面接指導**を受けに先生たちのもとを訪れます。

また、一年生は、**系列選択**に向けて大きな決断の時期となります。ここまでの取り組みで、系列選択に関する内容の多くを終えました。後期からは希望する系列の**基礎学力講座**が始まります。つまり、前期終了時には、おおむね系列選択を決定することになります。いよいよ専門的な授業が始まるのです。

中学三年生のみなさんも、志望校決定に向けた大事な時期となることと思います。じっくり考え、良い進路が開けるよう、お互い頑張っていきましょう！！